



お墓まいり

8月12日(土)

午前5時30分

精勤め-仏壇阿弥陀経・正信偈

* 法話-住職がいたします
* 念珠・お勤めの本・門徒輪袈裟持参ください

明徳寺報

第 503 号

29年8月1日

真宗大谷派

木之本町黒田

発行者

秦 信映

他所(坂口・木之本・西山・高月等)は
正午過ぎから勤行をいたします。
午前11時30分過ぎに御参集ください。

「お墓まいり」の行事は、旧伊香郡地方だけに伝わる仏教行事のようです。期日は、ほとんどが八月十二日か十三日で、旧郡内真宗に限らずどこのお寺でも勤まります。明徳寺は、十二日早朝五時半からお勤めが始まり、毎年百人以上の参詣者で本堂は満堂になります。

私が入寺した当時のお参りされた人は、親を亡くした子供等に限られているようでした。お嫁さんのお顔があまり見受けられませんのが不思議でした。お嫁さんは他人なので、父母への供養と言う考え方から、お参りされなかつたのかも知れません。あまり真宗的ではないようと思つていましたが、今では家族そろつてお参りくださるようになり、又、他所に縁付いておられる方も、前日には黒田へお帰りくださり、当日本当にたくさんの方がお参りくださるようになり、とてもありがたいことです。

父母への追慕や恩を感じるのは大事なことです、そのことをご縁にして、どなたでもお参りができる、公開された聞法の場になるよう願っています。単なる先祖供養ではなく、ひとりひとりが、亡き方をご縁にして、今的生活を「これでいいのか」と確かめ、『生きる意味を』尋ねていくひとときにしていただきたく思っています。

黒田のご門徒の皆様には、「お墓参り」として、記念品を用意をさせていただきましたので、粗品ですがお受け取りくださいようお願い申し上げます(住職)

夕涼み花火大会

沢田正人・北原たかしのライブ

日時 8月13日(日)

午後6時30分より

会場 明徳寺境内

ビール・ジュース・焼き鳥・フランクフルトなど
用意しています

(食べ物は予定です)
ヨーヨー・スーパーボールすべりもあります



来る8月13日(日)に、若葉会主催の「夕涼み花火大会」を開催致します。今回は明徳寺では2回目になりますが、歌手の沢田正人・北原たかしを招いてライブを企画しました。

ライブは、午後7時から1時間の予定で、境内を会場として行います。屋台も出店し、スーパーボールすべりなど楽しい遊び場も用意しております。皆様のお越しをお待ちしています。



葉刈り作業の御礼 60人を超すご門徒が奉仕

去る7月9日(日)午前8時より、「葉刈り作業」を実施いたしました。門徒総出ということもあって、60名を超える多くの方々にご参加いただきありがとうございました。皆様のご協力・ご尽力のお陰で、境内や庭の松の剪定を始め、桜の木・梅の木・サツキの葉刈り、更には境内外の草むしりなど、午前中奉仕作業をしていただき、見違えるような景観となりました。これでお墓参りの行事をお迎えすることができます。ここより感謝申し上げます。

また、当日は「物打ち」も実施し、全門徒さんからご納金していただき厚く御礼申し上げます。日曜学校は午前8時から行いました。7人の子どもが出席し、若院が担当しました。



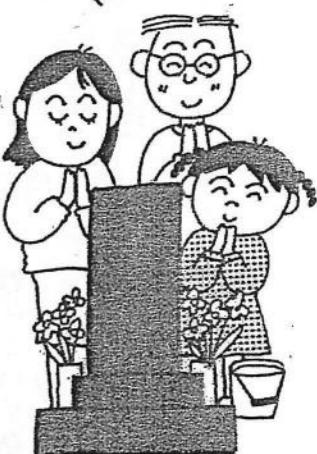
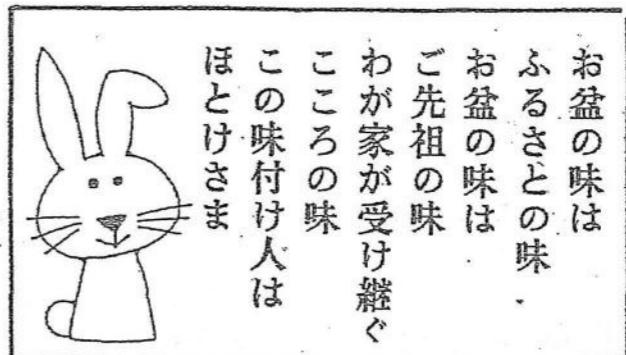
真宗門徒のお盆は、あつさりしています、と言われることがあります。特に黒田は三ヶ寺あり明徳寺以外は、精靈棚や迎え火・送り火といったことをされますが、真宗では、ご先祖のための特別の施設をこしらえたり、特別の儀式のようなものを執り行わないからそのように言われるのでしょう。もちろん、位牌を立て、靈供膳といつて先祖のためにごちそうを出したり、季節の野菜などをお供えすることもいたしません。

お盆に先祖の靈魂が一時帰省するという考えは、我が國固有の民族信仰に基づいたもので、本来の仏教の教えとは、かなり異質なものです。靈魂がとり憑いたり離れたり、あっちにいったりこっちにいったりするような考えはおよそ私たちにはなじみません。

「お盆は」のいわれ（盂蘭盆經という經典に説かれた物語りに基づいて営まれる仏事）にちなんで、ご先祖をうやまい、そうしたご先祖や亡き人がよろこんでこれらたお念仏のいわれを、お盆を機縁としてたずね、聞法させていただくことが大切といえます。それが真宗門徒の「お盆」の迎え方だと思います。

「お盆」のお勤めは、八月十四日(月)午後1時からいたします。

お誘い合わせてお参りください。



「一念発起して今日から禁煙することに決心しました」などというように、一念発起とは、思い立つてあることを成し遂げようと決心することをいいます。この一念発起が仏教語なのです。また、催し物を主になって計画し、人々に呼びかける世話を「発起人」といいます。その発起も仏教語で「悟りを求めようと決意すること。心を起こすこと」をいいます。『華厳經』に、「一念発起菩提心」とあります。「仏に帰命する一念を起こし、菩提（悟り）に向かう心を起こす」という意味で、「發菩提心」と同じ意味です。真宗では、「阿弥陀仏の本願を信じる心がはじめて起ること」をいいます。阿弥陀仏より回向された信心がはじめて獲得された瞬間です。

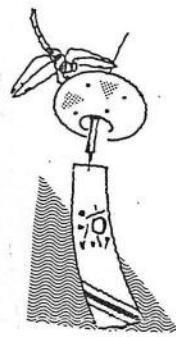
政治も経済も、また人の生き方もいろいろな事柄を通して問われている時代ならばこそ、古希を迎えた私も、何か一念発起して始めてみたいと思っています。(住職)

「一念発起」

しゅんとも かい 「紫雲朋の会」が発足

去る7月23日（日）午後7時30分より明徳寺書院において、明徳寺同朋会の結成式を執り行いました。既に定期総会や寺報などでお知らせしておりました今年度の新しい企画で、参加者の方を募集しておりました。現在明徳寺の定期的な聞法の機会は、毎週の日曜学校、月例の女性のつどい（婦人部主催）、親鸞聖人ご命日のつどい（70代・80代の女性を中心）、年3回の若葉会研修会（30代・40代の男性が中心）があります。春秋の永代経や報恩講には年齢を問わず多くの方が参詣され仏法聴聞のご縁をいただいてもらっていますが、70代前後の男性から聞法会を開設してほしいとの要望もあり、この5月から若夫婦も京都から帰り同居することもあり、従来の集いと異なり会員制として新しい発想で同朋会を結成しようということになりました。趣旨や内容についてはご案内しておりますが、当日は住職・寺族を含め6人が出席しました。これからこの6人が中心になって、新しい賛同者を募り活動を進めて行くことになりました。結成式では、お勤めの後住職からあいさつがあり会の目的や活動内容等について説明がありました。会の名称は「紫雲朋の会」に協議の結果決定しました。原則として月例の集いとし、これから1年の活動内容（予定）が話し合われました。月々の活動内容は次の通りです。

- * 8月27日（日）「三誓偈と嘆佛偈の読み方とその意味について①」（赤本持参）
- * 9月24日（日）「三誓偈と嘆佛偈の読み方とその意味について②」
- * 10月24日（火）長浜別院報恩講参詣
- * 11月11日（土）大谷大学学園祭（ホームカミングデー）に参加
- * 11月28日（火）本山報恩講参拝（京都）
- * 12月24日（日）忘年会
- * 明年1月7日（日）新年会
- * 2月25日（日）「三誓偈と嘆佛偈の読み方とその意味について③」
- * 3月25日（日）「三誓偈と嘆佛偈の読み方とその意味について④」
- * 4月10日（火）「24組真宗講座」受講 講師：古田和弘九州大谷短大名誉学長
- * 5月8日（火）～9日（水）「親鸞聖人ご旧跡巡り一泊研修旅行」
- * 6月10日（日）「24組同朋大会」参加
- * 7月25日（水）～26日（木）「本誓寺（金沢）法寶物虫供養法要」参詣



趣旨に賛同していただける方はどなたでも入会できます。年会費1000円が必要です。よろしくお願い致します。問い合わせや申し込みは住職までお願い致します。

日曜学校夏の集いの参加者を募集しています。
期日は8月19日（土）午後1時から20日（日）の一泊二日です。
「お盆のお勤め」は、15日（火）午後1時からです。それぞれお参りください。